

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「高等学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	花輪高等学校	鹿角市	存続	集約化（主）を実施
2	十和田高等学校	鹿角市	存続	集約化（従）を実施
3	小坂高等学校	小坂町	存続	集約化（従）を実施
4	大館鳳鳴高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
5	大館鳳鳴高等学校（定時制）	大館市	存続	大規模修繕を実施
6	大館国際情報学院中学校・高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
7	大館桂桜高等学校	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
8	秋田北鷹高等学校	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
9	能代高等学校	能代市	存続	建替え又は大規模修繕
10	能代高等学校（定時制）	能代市	存続	大規模修繕を実施
11	能代松陽高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	能代科学技術高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
13	旧能代西高等学校 校舎	能代市	廃止	除却処分を実施
14	五城目高等学校	五城目町	存続	大規模修繕を実施
15	男鹿海洋高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
16	男鹿工業高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
17	金足農業高等学校	秋田市	存続	建替えを実施
18	秋田西高等学校	潟上市	存続	大規模修繕を実施
19	秋田高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	秋田北高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
21	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	秋田市	存続	大規模修繕を実施
22	秋田中央高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	秋田工業高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	秋田明德館高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
25	新屋高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
26	本荘高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
27	由利高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
28	由利工業高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
29	矢島高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

30	西目高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
31	仁賀保高等学校	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
32	西仙北高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
33	大曲農業高等学校	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
34	大曲農業高等学校太田分校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
35	大曲高等学校	大仙市	存続	建替えを実施
36	大曲工業高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
37	角館高等学校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
38	角館高等学校（定時制）	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
39	六郷高等学校	美郷町	存続	大規模修繕を実施
40	横手高等学校	横手市	存続	建替えを実施
41	横手高等学校（定時制）	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
42	横手城南高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
43	横手清陵学院中学校・高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
44	平成高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
45	雄物川高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
46	増田高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
47	湯沢高等学校	湯沢市	存続	建替えを実施
48	旧湯沢高等学校稲川分校体育館	湯沢市	廃止	除却処分を実施
49	湯沢翔北高等学校	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
50	湯沢翔北高等学校雄勝校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
51	羽後高等学校	羽後町	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・統合が予定されている学校については、地元市町村など、関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次事業に着手する。
- ・単独改築を予定している学校については、校舎の老朽度合いなどを総合的に勘案しながら年次的に進めていく。
- ・大規模修繕については、危険度等の優先順位を見定めながら進めていく。
- ・旧能代西高等学校校舎については、公共施設等適正管理推進事業債（集約化事業）を活用した事業により廃止となることから、統合校の供用開始から５年以内（令和７年まで）に除却処分を実施する。
- ・旧湯沢高等学校稲川分校体育館については、除却処分を検討する。

1	施設名	花輪高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	花輪高等学校	所在地	鹿角市花輪字明堂長根
施設面積	11,354.27 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,469,794,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、十和田高校、小坂高校との統合について検討を行う。 令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定した。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、十和田高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

新たな統合校の設置場所となったことから既存施設の大規模改修及び増築を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

花輪高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,239	
R2	基本・実施設計	47,893	
R3	基本・実施設計等	240,722	
R4	施設整備	1,152,783	
R5	施設整備	2,384,804	
R6	施設整備	173,593	
	(合 計)	4,003,034	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	988	1,261	907	
運用コスト	11,713	10,900	9,652	
修繕コスト	5,300	5,900	0	
その他	0	0	0	
(合計)	18,001	18,061	10,559	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	474	471	465	

2	施設名	十和田高等学校
---	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	十和田高等学校	所在地	鹿角市十和田毛馬内字下寄熊
施設面積	9,503.10 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	472,473,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、小坂高校との統合について検討を行う。
令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定したことから廃校になる。廃校後の利活用について検討を行う。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和6年3月廃校予定】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、必要最小限の維持修繕を実施する。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

十和田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
H30	外部改修	2,794	
R2	地上オイルタンク設置	4,466	
	(合 計)	12,689	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	602	432	610	
運用コスト	7,117	7,557	6,215	
修繕コスト	744	0	12,150	
その他	0	0	0	
(合計)	8,463	7,989	18,975	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	338	338	328	

3	施設名	小坂高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	小坂高等学校	所在地	鹿角郡小坂町小坂字館平
施設面積	12,906.91 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	449,512,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、十和田高校との統合について検討を行う。

令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定したことから廃校になる。廃校後の利活用について検討を行う。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、十和田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和6年3月廃校予定】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、必要最小限の維持修繕を実施する。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

小坂高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根改修等	23,008	
	(合 計)	23,008	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,094	1,139	1,156	
運用コスト	8,723	7,927	6,727	
修繕コスト	5,800	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,617	9,066	7,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	170	170	

4	施設名	大館鳳鳴高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校	所在地	大館市字金坂後
施設面積	13,741.70 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,027,715,008 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	地下タンク改修	5,502	
R3	給水管改修	16,926	
R4	大規模修繕(建築・設備)	137,956	
R5	大規模修繕(建築・設備)	132,306	
	(合 計)	307,267	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	625	612	593	
運用コスト	14,391	13,458	10,549	
修繕コスト	1,947	19,000	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,963	33,070	11,142	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	771	774	763	

5	施設名	大館鳳鳴高等学校（定時制）
---	-----	---------------

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校（定時制）	所在地	大館市柄沢字狐台
施設面積	6,989.32 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県北地区の定時制基幹校として平成28年4月に開校しており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も大規模修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	校舎棟誘導灯改修	6,486	
R1	公共下水道接続 実施設計	1,000	
R2	公共下水道接続 工事	25,500	
	(合 計)	32,986	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,599	1,659	1,695	
運用コスト	7,969	8,156	6,872	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,568	9,815	8,567	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	422	377	371	

6	施設名	大館国際情報学院中学校・高等学校
---	-----	------------------

1 施設の概要

施設名称	大館国際情報学院中学校・高等学校	所在地	大館市松木字大上
施設面積	17,337.44 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,210,769,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県北地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大館国際情報学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	メディアホール屋根改修、気中開閉器更新	16,375	
H30	公共下水道接続等	22,285	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,139	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	23,257	
	空調設備改修（設計）	2,772	KHP
	武道場天井落下防止改修（設計）	1,084	
R6	空調設備改修（工事）	436,986	KHP
	武道場天井落下防止改修（工事）	29,240	
	（ 合 計 ）	533,138	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,703	4,768	3,284	
運用コスト	21,545	21,171	19,483	
修繕コスト	0	881	5,364	
その他	0	0	0	
（合計）	27,248	26,820	28,131	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	870	850	850	

7	施設名	大館桂桜高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館桂桜高等学校	所在地	大館市片山町
施設面積	27,742.96 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,996,485,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年数が新しいことから機能維持のための修繕をしながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大館桂桜高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

8	施設名	秋田北鷹高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田北鷹高等学校	所在地	北秋田市伊勢町
施設面積	19, 208. 21 m ²	建設年	平成 2 2 年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	1, 960, 408, 003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 6 0 年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田北鷹高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,162	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	24,357	
	武道場天井落下防止改修（設計）	1,084	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,054	
R7	空調設備改修（設計）	10,440	KHP
	（ 合 計 ）	63,097	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,317	5,982	6,240	
運用コスト	17,641	18,959	17,116	
修繕コスト	1,320	713	0	
その他	0	0	0	
（合計）	24,278	25,654	23,356	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	802	810	794	

9	施設名	能代高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校	所在地	能代市字高埜
施設面積	11,608.00 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	256,768,012 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中核校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中核校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が進行していることから、今後、建替え又は大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

建物の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

能代高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R5-R6 基本・実施設計（改築事業）	348,000	
	(合 計)	348,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,099	910	942	
運用コスト	12,298	11,651	11,336	
修繕コスト	0	40,536	1,271	
その他	0	0	0	
(合計)	13,397	53,097	13,549	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	760	760	

10	施設名	能代高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校（定時制）	所在地	能代市二ツ井町字五千刈
施設面積	7,288.49 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	556,617,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、能代高校の昼間の部定時制課程として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、能代工業高校定時制課程との再編について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築25年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

二ツ井高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	野球部室解体	2,690	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	1,087	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	15,684	
	(合 計)	19,461	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,359	1,523	1,352	
運用コスト	4,681	4,381	3,216	
修繕コスト	0	0	660	
その他	0	0	0	
(合計)	6,040	5,904	5,228	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	196	175	170	

11	施設名	能代松陽高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	能代松陽高等学校	所在地	能代市緑町
施設面積	16,491.80 m ²	建設年	平成25年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,438,559,512 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代松陽高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	防球ネット改修（設計）	3,200	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,377	
R5	防球ネット改修（工事）	55,000	
	講堂天井落下防止改修（工事）	19,865	
	(合 計)	79,442	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,066	5,060	5,065	
運用コスト	15,229	16,360	16,377	
修繕コスト	0	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,295	21,668	21,442	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	786	739	732	

12	施設名	能代科学技術高等学校
----	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	能代科学技術高等学校	所在地	能代市盤若町
施設面積	29,819.09 m ²	建設年	令和2年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,727,886,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果		
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を行い、校舎の建て替えを実施した。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を実施している。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代科学技術高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(能代地区専門系統合校整備事業 ※能代工業高校と能代西高校の統合)		
	H29-H30 基本・実施設計	292,195	
R1	施設整備	2,161,794	
R2	施設整備	2,008,336	
R3	施設整備	647,936	
R4	施設整備	891,321	
R5	施設整備	237,428	
	(合 計)	6,239,010	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	662	681	622	
運用コスト	14,292	13,899	11,460	
修繕コスト	1,589	1,530	777	
その他	0	0	0	
(合計)	16,543	16,110	12,859	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	449	448	434	

13	施設名	旧能代西高等学校 校舎
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	旧能代西高等学校 校舎	所在地	能代市真壁地字上野
施設面積	12,507.81 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	380,122,031 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当施設は能代科学技術高校への統合に伴い、令和3年4月に閉校している。 ・施設は昭和40年代に建築され老朽化が激しく、また、旧耐震基準により建設された施設で転用等は難しい。 ・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。		

3 目標使用年数 【令和7年解体】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため令和7年に解体を行う。
--

4 管理上の課題等

・当施設は能代科学技術高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧能代西高等学校校舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	管理棟、教室棟、体育館等の解体（設計費）	44,539	
R6	管理棟、教室棟、体育館等の解体（工事費）	1,919,500	
	(合 計)	1,964,039	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

14	施設名	五城目高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	五城目高等学校	所在地	南秋田郡五城目町大川西野字田屋下
施設面積	9,670.99 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	296,123,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、今後も入学者数が一定程度見込めることや、全県的に見た学校の配置状況等を考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

五城目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	1,772	
R1	屋根・外壁改修	169,600	
R2	屋根・外壁改修	80,300	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,369	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	19,753	
	（ 合 計 ）	272,794	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	489	243	448	
運用コスト	7,729	7,021	5,565	
修繕コスト	0	12,234	1,253	
その他	0	0	0	
（合計）	8,218	19,498	7,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	363	347	328	

15	施設名	男鹿海洋高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	男鹿海洋高等学校	所在地	男鹿市船川港南平沢字大畑台
施設面積	12,677.40 m ²	建設年	昭和50年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,139,411,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿工業高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿工業高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿海洋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
R2	温水ボイラー等改修（設計）	3,043	
R4	温水ボイラー等改修（工事）	39,633	
	教室・管理棟屋根防水及び外壁塗装シーリング（設計）	9,679	
	プール棟・武道場天井落下防止改修（設計）	3,427	
R5	プール棟天井落下防止改修（工事）	45,212	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,730	
	（ 合 計 ）	133,153	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,293	1,133	1,238	
運用コスト	17,929	19,660	15,169	
修繕コスト	33,877	12,640	2,237	
その他	0	0	0	
（合計）	53,099	33,433	18,644	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	367	363	371	

16	施設名	男鹿工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	男鹿工業高等学校	所在地	男鹿市船越字内子
施設面積	15,547.32 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	519,887,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿海洋高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿海洋高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	内部改修等	22,730	
R7	空調設備改修（設計）	6,320	KHP
	(合 計)	43,627	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	588	1,160	
運用コスト	11,122	9,730	8,275	
修繕コスト	578	1,829	1,404	
その他	0	0	0	
(合計)	12,272	12,147	10,839	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	340	349	

17	施設名	金足農業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	金足農業高等学校	所在地	秋田市金足追分
施設面積	17,280.97 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	612,971,027 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和5年頃を目処に建替】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

金足農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	18,590	
H30	セミナーハウスボイラー修繕	5,702	
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	31,809	
R5	施設整備（改築事業）	383,017	
R6	施設整備（改築事業）	518,054	
	(合 計)	957,172	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,627	1,571	1,631	
運用コスト	15,607	14,870	14,414	
修繕コスト	0	2,816	2,743	
その他	0	0	0	
(合計)	17,234	19,257	18,788	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	607	608	592	

18	施設名	秋田西高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	秋田西高等学校	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	10,975.57 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	413,416,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田西高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	電気設備改修等	24,448	
R2	校舎・管理棟排気ファン更新	5,892	
R4	空調設備改修（設計）	4,429	KHP
R5	空調設備改修（工事）	50,542	KHP
	(合 計)	99,888	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	290	538	567	
運用コスト	9,052	8,822	7,995	
修繕コスト	50,245	31,037	0	
その他	0	0	0	
(合計)	59,587	40,397	8,562	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	651	646	617	

19	施設名	秋田高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	秋田高等学校	所在地	秋田市手形字中台
施設面積	18,488.99 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,010,606,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修、煙突断熱材改修	105,791	
R2	理科棟消火栓設備改修	4,151	
R2	ボイラー更新(実施設計)	2,057	
R3	ボイラー更新(工事)	24,494	
R4	排水路拡張及びグラウンド整備(設計)	5,498	
R5	排水路拡張及びグラウンド整備(工事)	76,824	
	武道場天井落下防止対策(設計)	1,071	
R6	武道場天井落下防止対策(工事)	11,929	
	(合 計)	231,815	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	424	1,965	868	
運用コスト	19,220	17,993	17,098	
修繕コスト	5,603	387	20,126	
その他	0	0	0	
(合計)	25,247	20,345	38,092	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	929	897	889	

20	施設名	秋田北高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	秋田北高等学校	所在地	秋田市千秋中島町
施設面積	14,451.75 m ²	建設年	平成13年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,660,942,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,154	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	31,070	
	（ 合 計 ）	33,224	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,051	1,329	1,265	
運用コスト	15,912	16,003	14,694	
修繕コスト	378	451	1,050	
その他	0	0	0	
（合計）	17,341	17,783	17,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	782	772	771	

21	施設名	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部
----	-----	--------------------

1 施設の概要

施設名称	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	所在地	秋田市仁井田緑町
施設面積	18,810.30 m ²	建設年	平成9年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,546,847,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

中等部設置に伴う改修を行ったが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,112	1,530	969	
運用コスト	17,881	17,059	17,292	
修繕コスト	2,763	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	21,756	18,589	18,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	894	896	894	

22	施設名	秋田中央高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田中央高等学校	所在地	秋田市土崎港南
施設面積	14,405.27 m ²	建設年	平成26年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,265,554,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田中央高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	野球場防球ネット改修（設計）	4,200	
	（ 合 計 ）	4,200	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	345	415	2,303	
運用コスト	15,121	12,766	11,454	
修繕コスト	599	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	16,065	13,181	13,757	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	767	780	785	

23	施設名	秋田工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田工業高等学校	所在地	秋田市保戸野金砂町
施設面積	25,110.24 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	3,208,504,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,413	4,932	3,261	
運用コスト	21,566	20,508	15,005	
修繕コスト	971	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	25,950	25,440	18,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	763	731	711	

24	施設名	秋田明德館高等学校
----	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	秋田明德館高等学校	所在地	秋田市中通二丁目
施設面積	13,834.37 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造7階	台帳価格	1,592,923,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田明德館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	837	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	12,077	
	（ 合 計 ）	12,914	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,609	26,625	26,683	
運用コスト	27,959	26,827	24,063	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	52,568	53,452	50,746	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,162	929	849	

25	施設名	新屋高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	新屋高等学校	所在地	秋田市豊岩石田坂字鎌塚
施設面積	11,046.97 m ²	建設年	昭和59年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	511,188,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修	10,335	
H30	公共下水道接続 実施設計	1,207	
H30	階段昇降機取付	5,000	
R1	受水槽屋根改修	6,625	
R1	公共下水道接続	31,738	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,071	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	18,182	
	（ 合 計 ）	74,158	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,047	1,015	
運用コスト	10,972	10,072	8,924	
修繕コスト	1,323	850	2,084	
その他	0	0	0	
（合計）	13,274	11,969	12,023	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	649	650	621	

26	施設名	本荘高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	本荘高等学校	所在地	由利本荘市陳場岱
施設面積	16,796.19 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,030,755,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震性を有しており、安全性に問題はないが、築25年以上経っており、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

本荘高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修、受変電機器更新	41,913	
R4	屋根・外壁改修等	102,026	
	自転車小屋解体	7,242	
	法面災害復旧工事	18,073	
R5	給排水設備改修等	125,289	
R6	体育館・武道場屋根・外壁、給排水設備改修等	194,952	
	(合 計)	489,495	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,590	1,588	1,626	
運用コスト	12,924	12,907	11,218	
修繕コスト	1,365	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,879	14,495	12,844	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	828	826	818	

27	施設名	由利高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	由利高等学校	所在地	由利本荘市川口字愛宕山
施設面積	11,538.91 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,121,851,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

由利高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	体育館屋根改修（設計）	2,225	
R6	体育館屋根改修（工事）	80,000	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	1,400	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	20,198	
	（ 合 計 ）	103,823	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,871	3,525	2,342	
運用コスト	11,290	11,765	11,696	
修繕コスト	0	2,657	0	
その他	0	0	0	
（合計）	14,161	17,947	14,038	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	612	609	594	

28	施設名	由利工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	由利工業高等学校	所在地	由利本荘市石脇字田尻
施設面積	17,028.79 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,217,208,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

--

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

由利工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,026	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	29,229	
	（ 合 計 ）	31,255	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,313	2,536	1,973	
運用コスト	14,603	14,543	13,497	
修繕コスト	987	1,064	536	
その他	0	0	0	
（合計）	17,903	18,143	16,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	423	434	433	

29	施設名	矢島高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	矢島高等学校	所在地	由利本荘市矢島町七日町字助の渕
施設面積	5,439.76 m ²	建設年	平成21年
構造・階数	R C 造一部木造2階	台帳価格	691,552,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、地理的な背景を踏まえ、今後も校舎一体型の中高連携校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

当面は機能維持のための修繕を行うが、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

矢島高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	10,817	KHP
R7	空調設備改修（工事）	156,072	KHP
	（ 合 計 ）	166,889	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,251	2,288	2,342	
運用コスト	10,040	9,389	8,591	
修繕コスト	0	0	994	
その他	0	0	0	
（合計）	12,291	11,677	11,927	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	244	204	198	

30	施設名	西目高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	西目高等学校	所在地	由利本荘市西目町沼田字新道下
施設面積	15,778.89 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	655,342,044 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

西目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	屋根・外壁改修等	132,049	
R3	屋根・外壁改修等	150,500	
R4	実習施設等解体	38,051	
	R6-R7 大規模改修	200,000	
	(合 計)	520,600	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	860	824	779	
運用コスト	12,091	11,446	9,943	
修繕コスト	1,133	3,880	3,457	
その他	0	0	0	
(合計)	14,084	16,150	14,179	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	525	503	466	

31	施設名	仁賀保高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	仁賀保高等学校	所在地	にかほ市象潟町字下浜山
施設面積	8,824.68 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	300,699,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととする。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

仁賀保高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,909	
R4	トイレ内壁改修	7,607	R5に繰越
R7	大規模改修	200,000	
	(合 計)	211,516	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,006	1,028	
運用コスト	11,255	12,089	11,855	
修繕コスト	1,806	7,566	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,040	20,661	12,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	455	458	442	

32	施設名	西仙北高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	西仙北高等学校	所在地	大仙市刈和野字北ノ沢嶋山
施設面積	7,144.24 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	194,802,014 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、秋田市の生徒の進学先の一つとなっていることや学校配置に係る地理的バランス等も考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

西仙北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根・外壁改修（格技場）	10,941	
R4	体育館屋根防水一部改修	6,000	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,244	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	17,947	
	（ 合 計 ）	36,132	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,000	873	1,090	
運用コスト	7,141	6,703	6,031	
修繕コスト	432	5,331	0	
その他	0	0	0	
（合計）	8,573	12,907	7,121	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	178	201	271	

33	施設名	大曲農業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校	所在地	大仙市大曲金谷町
施設面積	22,289.25 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	3,143,299,167 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	農場施設給排水設備改修	20,091	
	(合 計)	20,091	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,918	1,941	1,901	
運用コスト	17,369	16,013	13,727	
修繕コスト	0	259	0	
その他	0	0	0	
(合計)	19,287	18,213	15,628	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	563	556	577	

34	施設名	大曲農業高等学校太田分校
----	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校太田分校	所在地	大仙市太田町横沢字窪関南
施設面積	2,339.13 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	2,895,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）では、小規模校として機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

建築・設備等の機能維持のための修繕を実施し、使用する。

4 管理上の課題等

現在のところ、安全性等に特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

大規模修繕は実施しない。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校太田分校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	管理棟屋根塗装	4,494	
R4	体育館屋根改修	19,433	
	(合 計)	23,927	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	189	194	338	
運用コスト	1,503	1,574	1,535	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,692	1,768	1,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109	95	85	

35	施設名	大曲高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大曲高等学校	所在地	大仙市大曲栄町
施設面積	13,202.37 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	347,733,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和3年頃を目処に建替】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R1-R2 基本・実施設計（改築事業）	323,137	
R3	施設整備（改築事業）	678,300	
R4	施設整備（改築事業）	1,787,077	
R5	施設整備（改築事業）	1,757,742	
R6	施設整備（改築事業）	1,416,483	
R7	施設整備（改築事業）	643,931	
R8	施設整備（改築事業）	697,477	
	（ 合 計 ）	7,304,147	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,225	1,322	1,379	
運用コスト	14,050	13,733	11,229	
修繕コスト	13,784	2,868	0	
その他	0	0	0	
（合計）	29,059	17,923	12,608	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	731	711	

36	施設名	大曲工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大曲工業高等学校	所在地	大仙市大曲若葉町
施設面積	16,497.85 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,447,862,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

校舎棟については耐震補強工事を実施しており、安全性に問題はないが、今後、大規模修繕は必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大曲工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	野球場防球ネット改修	25,938	
R2	武道場屋根塗装	6,506	
R4	地下オイルタンクライニング	5,911	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,401	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	20,210	
	（ 合 計 ）	59,966	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	1,132	1,069	
運用コスト	13,952	15,543	12,192	
修繕コスト	0	594	0	
その他	0	0	0	
（合計）	14,894	17,269	13,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	473	473	474	

37	施設名	角館高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校	所在地	仙北市角館町細越町
施設面積	11,896.78 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,057,964,006 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成26年度に大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	0	1,773	
運用コスト	11,412	400	11,259	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	12,652	400	13,032	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	616	0	777	

38	施設名	角館高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校（定時制）	所在地	仙北市角館町小館
施設面積	4,980.75 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

平成27年度に大規模改修を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定無し		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	711	958	186	
運用コスト	8,629	10,819	3,790	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,340	11,777	3,976	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	286	790	42	

39	施設名	六郷高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	六郷高等学校	所在地	仙北郡美郷町六郷字馬場
施設面積	9,533.37 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	459,609,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、全県唯一の福祉科を有する学校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

六郷高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修	24,568	
H30	地下タンク改修等	12,165	
R2	パラペット修繕(危険箇所)	7,773	
R6	大規模修繕(建築・設備)	200,000	
	(合 計)	244,506	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	660	678	814	
運用コスト	7,666	7,578	5,870	
修繕コスト	6,000	6,700	16,265	
その他	0	0	0	
(合計)	14,326	14,956	22,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	332	305	

40	施設名	横手高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校	所在地	横手市睦成字鶴谷地
施設面積	12,504.93 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	646,237,011 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和2年頃を目処に建替】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	21,609	
	H30-R1 基本・実施設計（改築事業）	287,525	
R2	施設整備（改築事業）	1,005,267	
R3	施設整備（改築事業）	1,639,655	
R4	施設整備（改築事業）	1,326,477	
R5	施設整備（改築事業）	1,079,858	
R6	施設整備（改築事業）	1,034,288	
R7	施設整備（改築事業）	169,514	
	（ 合 計 ）	6,564,193	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	761	704	1,050	
運用コスト	13,300	12,035	9,713	
修繕コスト	2,699	3,484	378	
その他	0	0	0	
（合計）	16,760	16,223	11,141	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	777	770	770	

41	施設名	横手高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校（定時制）	所在地	横手市前郷二番町
施設面積	3,660.05 m ²	建設年	平成20年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	3,701	KHP
R7	空調設備改修（工事）	53,389	KHP
	（ 合 計 ）	57,090	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

42	施設名	横手城南高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	横手城南高等学校	所在地	横手市根岸町
施設面積	13,363.21 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,780,210,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

横手城南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	茶室・華道部室解体	10,107	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,204	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	17,371	
	(合 計)	28,682	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,647	1,476	1,414	
運用コスト	12,582	12,580	10,441	
修繕コスト	423	0	2,524	
その他	0	0	0	
(合計)	14,652	14,056	14,379	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	635	615	595	

43	施設名	横手清陵学院中学校・高等学校
----	-----	----------------

1 施設の概要

施設名称	横手清陵学院中学校・高等学校	所在地	横手市大沢字前田
施設面積	24,685.40 m ²	建設年	平成16年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,849,529,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

横手清陵学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	第1・第2体育館屋根改修	54,363	R2に繰越
R4	空調設備改修（設計）	7,495	KHP
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,806	KHP
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,056	
	空調設備改修（工事）	136,598	KHP
	（ 合 計 ）	226,318	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,806	2,780	3,041	
運用コスト	26,537	26,109	22,569	
修繕コスト	6,383	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	35,726	28,889	25,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	841	820	746	

44	施設名	平成高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	平成高等学校	所在地	横手市平鹿町上吉田字角掛
施設面積	7,836.99 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	766,509,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、増田高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、増田高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

平成高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根塗装他	5,400	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,174	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	16,931	
	（ 合 計 ）	23,505	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,479	1,297	1,895	
運用コスト	8,731	7,682	6,311	
修繕コスト	649	0	2,466	
その他	0	0	0	
（合計）	10,859	8,979	10,672	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	369	366	350	

45	施設名	雄物川高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	雄物川高等学校	所在地	横手市雄物川町今宿字まみ袋
施設面積	7,957.61 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	406,282,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、増田高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、増田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

雄物川高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	2,711	
R1	ボイラー更新(実施設計)	808	
R2	ボイラー更新(工事)	18,965	
R4	地下タンク改修	5,434	
	消防設備更新(設計)	1,919	
R5	消防設備更新(工事)	27,412	
	(合 計)	57,249	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,127	1,055	394	
運用コスト	10,337	10,873	9,195	
修繕コスト	0	0	691	
その他	0	0	0	
(合計)	11,464	11,928	10,280	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	374	358	353	

46	施設名	増田高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	増田高等学校	所在地	横手市増田町増田字一本柳
施設面積	14,583.46 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	549,597,025 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

増田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	電気室キュービクル更新	3,781	
R4	実習棟屋根塗装	13,795	
	高圧ケーブル更新	4,903	
R5	地下タンク改修	4,732	
	(合 計)	27,211	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,003	913	736	
運用コスト	12,191	13,061	10,522	
修繕コスト	12,532	0	900	
その他	0	0	0	
(合計)	25,726	13,974	12,158	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	509	485	484	

47	施設名	湯沢高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	湯沢高等学校	所在地	湯沢市字新町
施設面積	12,195.33 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	579,112,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和5年度を目処に建替】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が著しいことから、建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

湯沢高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	297,160	
R5	施設整備（改築事業）	329,943	
R6	施設整備（改築事業）	319,688	
	(合 計)	946,791	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	596	679	614	
運用コスト	14,569	13,758	12,263	
修繕コスト	29,737	3,677	1,318	
その他	0	0	0	
(合計)	44,902	18,114	14,195	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	731	730	697	

48	施設名	旧湯沢高等学校稲川分校 体育館
----	-----	-----------------

1 施設の概要

施設名称	旧湯沢高等学校稲川分校 体育館	所在地	湯沢市稲庭町字大森
施設面積	720.20 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	鉄骨1階	台帳価格	27,204,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果		
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当施設は平成29年度末に閉校している。 ・施設は昭和60年代に建築され老朽化が激しく、転用等は難しい。 ・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。		

3 目標使用年数 【 】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため解体を検討する。

4 管理上の課題等

・当施設は湯沢高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧湯沢高等学校稲川分校体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

49	施設名	湯沢翔北高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校	所在地	湯沢市湯ノ原
施設面積	15,606.85 m ²	建設年	平成23年
構造・階数	R C造6階	台帳価格	1,781,436,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

湯沢翔北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	第二体育館屋外階段屋根改修	5,921	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,211	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	31,901	
	(合 計)	40,033	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,365	1,404	1,387	
運用コスト	16,941	16,658	14,305	
修繕コスト	965	259	185	
その他	0	0	0	
(合計)	19,271	18,321	15,877	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	753	752	737	

50	施設名	湯沢翔北高等学校雄勝校
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校雄勝校	所在地	湯沢市下院内字小白岩
施設面積	6,919.90 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	227,118,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校にすることとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

雄勝高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館床改修	5,227	
R7	大規模改修（設計）	100,000	
	（ 合 計 ）	105,227	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	919	657	424	
運用コスト	5,824	6,156	5,728	
修繕コスト	1,092	15,100	0	
その他	0	0	0	
（合計）	7,835	21,913	6,152	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	264	239	202	

51	施設名	羽後高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	羽後高等学校	所在地	雄勝郡羽後町字大戸
施設面積	7,099.21 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	396,757,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、中山間地域の生徒の通学や地区の教育・文化における役割等を考慮し存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、存続等について具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

羽後高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	ボイラー更新(設計)	1,164	
R3	ボイラー更新(工事)	22,406	
R4	職員公舎解体	4,177	
	武道場天井落下防止改修(設計)	1,279	
R5	武道場天井落下防止改修(工事)	18,454	
R7	地下タンク改修	5,000	
	(合 計)	52,480	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	719	730	675	
運用コスト	6,457	5,869	4,844	
修繕コスト	0	0	670	
その他	0	0	0	
(合計)	7,176	6,599	6,189	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	303	286	259	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「特別支援学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	視覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	聴覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	比内支援学校	大館市	存続	建替えを実施
4	比内支援学校たかのす校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
5	比内支援学校かつの校	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
6	能代支援学校	能代市	存続	大規模修繕を実施
7	栗田支援学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	大曲支援学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	大曲支援学校せんぼく校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
10	横手支援学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
11	稲川支援学校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
12	ゆり支援学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
13	天王みどり学園	潟上市	存続	大規模修繕を実施
14	秋田きらり支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	視覚支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	視覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,167.34 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	309,901,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の視覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

2	施設名	聴覚支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	聴覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,395.09 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	309,938,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の聴覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

聴覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

3	施設名	比内支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校	所在地	大館市比内町達子字前田野
施設面積	8,926.62 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1,410,242,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 大館地区の知的障害の特別支援学校として存続していく。建築から40年以上経過しており、建築当時と環境等が大きく変化しており、老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成30年頃を目処に建替】

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、教育活動に支障が生じている。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(比内支援学校整備事業)		
	H28-H29 基本・実施設計	133,658	
H30	施設整備	401,468	
R1	施設整備	1,454,597	
R2	施設整備	381,828	
R3	施設整備	628,265	
R4	施設整備	281,534	
R5	施設整備	85,680	
R6	施設整備	53,382	
	(合 計)	3,420,412	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,131	1,374	1,073	
運用コスト	14,323	13,324	11,279	
修繕コスト	5,209	3,609	1,521	
その他	0	0	0	
(合計)	20,663	18,307	13,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	188	213	180	

4	施設名	比内支援学校たかのす校
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校たかのす校	所在地	北秋田市七日市字家向
施設面積	1,471.60 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	木造1階	台帳価格	46,749,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 北秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校たかのす校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備改修	3,471	
R4	大規模修繕（建築・設備）	63,439	
R6	空調設備改修（設計）	1,572	
R7	空調設備改修（工事）	22,671	
	（ 合 計 ）	91,153	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	528	472	481	
運用コスト	3,822	2,916	2,694	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	4,350	3,388	3,175	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	72	85	90	

5	施設名	比内支援学校かづの校
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校かづの校	所在地	鹿角市花輪字案内
施設面積	1,542.48 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	103,770,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 鹿角地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校かつの校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	1,104	
R7	空調設備改修（工事）	15,919	
	（ 合 計 ）	17,023	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	224	158	158	
運用コスト	2,707	2,755	2,637	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	2,931	2,913	2,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	70	75	90	

6	施設名	能代支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	能代支援学校	所在地	能代市真壁地字トトメキ沢
施設面積	6,477.95 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	834,742,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 能代地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

能代支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	誘導灯改修、電気設備改修	6,920	
H30	校地内通路舗装	1,500	
H30	空調設備更新	140,764	R1に繰越
R4	火災受信機更新	20,030	R5に繰越
	(合 計)	169,214	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,415	1,504	1,525	
運用コスト	10,783	10,161	9,219	
修繕コスト	0	5,600	2,129	
その他	0	0	0	
(合計)	12,198	17,265	12,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	200	182	

7	施設名	栗田支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	栗田支援学校	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	13,477.44 m ²	建設年	平成12年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1,344,597,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和5年度を目処に一部建替、長寿命化工事】

小学部棟は地区40年以上経過したことから長寿命化と増築工事を実施する。また、高等部職業学科棟を本校舎敷地に新築する。既存校舎等(中・高等部棟、寄宿舎棟、体育館棟、厨房・食堂棟)についても、長寿命化の工事を実施する。

4 管理上の課題等

小学部棟については築40年以上経っていることや、高等部の教室が不足しているなど施設機能に不具合が生じている。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

栗田支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ガス配管等改修	3,498	
H30	ブロック塀改修	42,723	R1に繰越
H30	空調設備更新	207,662	R1に繰越
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	178,060	
R5	施設整備（改築事業）	462,127	
R6	施設整備（改築事業）	85,800	
R7	施設整備（改築事業）	85,800	
R8	施設整備（改築事業）	71,500	
	（ 合 計 ）	1,137,170	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,448	1,235	1,165	
運用コスト	19,855	18,191	14,207	
修繕コスト	1,456	4,077	15,141	
その他	0	0	0	
（合計）	22,759	23,503	30,513	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	372	388	408	

8	施設名	大曲支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校	所在地	大仙市大曲西根字下成沢
施設面積	7,332.15 m ²	建設年	平成4年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	704,164,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 大仙地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25 年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	189,516	H31に繰越
R5-R6	大規模修繕（建築）	200,000	
	（ 合 計 ）	389,516	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,162	1,087	1,382	
運用コスト	13,798	11,523	10,834	
修繕コスト	1,742	0	27,458	
その他	0	0	0	
（合計）	16,702	12,610	39,674	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	281	271	272	

9	施設名	大曲支援学校せんぼく校
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校せんぼく校	所在地	仙北市角館町小館77番地2
施設面積	1,702.62 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	W造2階	台帳価格	262,491,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 仙北地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

10	施設名	横手支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	横手支援学校	所在地	横手市赤坂字仁坂
施設面積	6,249.63 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	420,129,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 横手地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

高等学部棟は建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。小学部棟は老朽化が著しいことから建替を行う

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

横手支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	4,365	
	R6-R7 基本・実施設計（改築事業）	200,000	
	(合 計)	204,365	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	806	1,055	839	
運用コスト	6,116	6,026	5,788	
修繕コスト	0	2,439	25,852	
その他	0	0	0	
(合計)	6,922	9,520	32,479	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	169	157	167	

11	施設名	稲川支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	稲川支援学校	所在地	湯沢市駒形町字八面寺下谷地
施設面積	3,403.94 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	227,272,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 湯沢地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、老朽化が著しいため建替が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、建替と大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

稲川支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	地下タンク改修	5,350	
R4	高架水槽更新	9,885	
	R7- 基本・実施設計（改築事業）	200,000	
	(合 計)	215,235	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,103	873	836	
運用コスト	4,439	4,273	3,458	
修繕コスト	771	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	6,313	5,146	4,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	111	124	123	

12	施設名	ゆり支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	ゆり支援学校	所在地	由利本荘市水林
施設面積	6,256.50 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1,036,426,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 由利本荘地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

より支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	180,591	R1に繰越
R4	自動火災報知設備更新	38,830	
	(合 計)	219,421	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,427	1,699	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	139	1,410	626	
その他	0	0	0	
(合計)	12,581	13,836	12,762	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

13	施設名	天王みどり学園
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	天王みどり学園	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	5, 133. 06 m ²	建設年	平成 1 5 年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	795, 365, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 男鹿・南秋地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 6 0 年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、1 0 年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

天王みどり学園に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	空調設備改修（設計）	3,937	
R5	空調設備改修（工事）	56,814	
	（ 合 計 ）	60,751	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,045	1,021	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	704	793	0	
その他	0	0	0	
（合計）	12,764	12,541	12,136	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

14	施設名	秋田きらり支援学校
----	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	秋田きらり支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	11, 501. 51 m ²	建設年	平成 2 2 年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1, 313, 059, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の肢体不自由支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 6 0 年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田きらり支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	外構整備	3,964	
	(合 計)	3,964	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	8,083	9,112	8,404	
運用コスト	37,993	37,205	34,314	
修繕コスト	1,200	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	47,276	46,317	42,718	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	462	437	437	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「教育機関」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合教育センター	潟上市	存続	大規模修繕を実施
2	自然体験活動センター	八峰町	存続	大規模修繕を実施
3	青少年交流センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
4	県立美術館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	近代美術館	横手市	存続	大規模修繕を実施
6	博物館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	奈良家	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	埋蔵文化財センター	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	農業科学館	大仙市	存続	大規模修繕を実施
10	図書館・公文書館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	あきた文学資料館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	生涯学習センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	大館少年自然の家	大館市	存続	大規模修繕を実施
14	保呂羽山少年自然の家	横手市	存続	大規模修繕を実施
15	岩城少年自然の家	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	総合教育センター
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	総合教育センター	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	14,861.00 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	R C 造 4 階	台帳価格	2,852,286,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県における教職員の研修施設として大きな役割を果たしており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

総合教育センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	68,460	
R2	直流電源装置更新	16,816	
R4	非常放送設備更新	15,850	
R5	消防設備改修	44,082	
	(合 計)	145,208	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	44,039	44,139	45,283	
運用コスト	21,653	23,612	18,348	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	65,692	70,381	78,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	100	100	110	

2	施設名	自然体験活動センター
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	自然体験活動センター	所在地	山本郡八峰町八森字御所の台
施設面積	2,660.08 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	270,006,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然体験活動の機会を提供し、青少年の心身の健全な発達と県民の生涯学習の振興に資する施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

八峰町を指定管理者としており、公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

八峰町へ譲渡する可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

現在も八峰町を指定管理者としており、隣接するはたはた館と一体的な運営をしている。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

自然体験活動センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備更新（設計）	12,267	
R7	空調設備更新（工事）	176,990	
	（ 合 計 ）	189,257	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,567	3,796	3,638	
運用コスト	5,465	5,401	4,286	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
（合計）	9,032	11,827	22,322	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	15,196	14,879	14,901	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,353	10,114	9,900	

3	施設名	青少年交流センター
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	青少年交流センター	所在地	秋田市寺内神屋敷
施設面積	8,452.60 m ²	建設年	平成11年
構造・階数	R C 造 4 階	台帳価格	1,789,610,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 青少年に対する研修と青少年の交流・学習機会の提供等を行う施設として位置づけられている。 ・ 建設年が比較的新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（一財）秋田県青年会館を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

青少年交流センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	21,756	
R1	駐車場舗装修繕	21,018	
	(合 計)	42,774	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	19,563	18,434	18,742	
運用コスト	50,503	49,628	45,295	
修繕コスト	882	1,681	2,758	
その他	0	0	0	
(合計)	70,948	69,743	66,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,679	69,281	75,354	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85,663	86,616	83,844	

4	施設名	県立美術館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	県立美術館	所在地	秋田市中通
施設面積	3,746.66 m ²	建設年	平成24年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	1,026,547,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県民の美術に関する教養の向上に資するとともに、平野政吉美術財団が所有する藤田嗣治を中心とした美術作品の展示施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（公財）平野政吉美術財団を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要になる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

県立美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	県民ギャラリー等改修	79,839	
R4	空調設備改修（設計）	1,511	
R5	空調設備改修（工事）	39,808	
	（ 合 計 ）	121,158	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,823	10,899	10,859	
運用コスト	24,220	27,522	23,351	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	30,043	38,421	34,210	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,079	38,986	23,091	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	96,890	144,864	124,135	

5	施設名	近代美術館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	近代美術館	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	11,166.50 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	SRC造7階	台帳価格	3,412,832,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県にゆかりのある作家の優れた美術作品を中心に収集・保管・展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う施設と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

近代美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	中央監視設備改修	47,063	
H29	企画展示室等改修	83,128	
R4	貨物用エレベーター更新	65,736	
R7	大規模修繕（建築・設備）	300,000	
	(合 計)	495,927	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,445	57,559	57,559	
運用コスト	31,809	32,524	30,404	
修繕コスト	25,454	5,562	287	
その他	0	0	0	
(合計)	113,708	95,645	88,250	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,447	11,665	19,877	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	102,677	92,210	141,776	

6	施設名	博物館
---	-----	-----

1 施設の概要

施設名称	博物館	所在地	秋田市金足鴉崎字後山
施設面積	11,952.81 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	1,086,223,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・郷土の自然と人文に関する認識を深め、県民の学術及び文化の発展に寄与する、県内唯一の総合博物館と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

博物館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	空調設備改修（設計）	2,874	
R5	空調設備改修（工事）	41,459	
	（ 合 計 ）	44,333	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,279	11,203	11,250	
運用コスト	27,858	28,057	25,736	
修繕コスト	2,789	57,542	46,000	
その他	0	0	0	
（合計）	41,926	96,802	82,986	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	8,589	4,605	7,293	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,393	104,036	107,277	

7	施設名	奈良家
---	-----	-----

1 施設の概要

施設名称	奈良家	所在地	秋田市金足鴉崎字後山
施設面積	1,465.27 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	木造1階	台帳価格	10 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 国指定重要文化財であり、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないが、今後、老朽箇所の大規模修繕等が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

奈良家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	878	765	705	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	878	765	705	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※利用者数は博物館に含める

8	施設名	埋蔵文化財センター
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	埋蔵文化財センター	所在地	大仙市払田字牛嶋
施設面積	11,910.12 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	413,359,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県唯一の埋蔵文化財調査機関として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

- ・ 建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。
- ・ 出土品の収蔵スペースに限りがあり、将来的に収蔵庫の増設を検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

埋蔵文化財センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水設備改修	5,947	
R2	地下タンク改修	4,456	
R4	大規模盛土造成地変動予測調査（旧男鹿高校）	14,256	R5に繰越
	(合 計)	24,659	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,458	21,274	1,025	
運用コスト	2,507	3,540	2,345	
修繕コスト	0	0	902	
その他	0	0	0	
(合計)	3,965	24,814	4,272	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,709	8,691	11,261	

9	施設名	農業科学館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	農業科学館	所在地	大仙市内小友字中沢
施設面積	5,032.93 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C 造 1 階	台帳価格	608,112,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県の農林業、農村生活の理解を深め、農林業に関する科学技術について学習の機会を提供する施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根鉄板葺きの改修周期は30年、外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

農業科学館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	非常放送設備修繕	6,056	
R2	屋根改修（設計）	2,865	
R3	屋根改修（工事）	80,163	
R4	灌水ポンプ更新	10,179	
R7	大規模修繕（建築・設備）	150,000	
	（ 合 計 ）	243,207	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,902	10,076	10,046	
運用コスト	11,826	10,794	7,933	
修繕コスト	22,000	10,598	895	
その他	0	0	0	
（合計）	43,728	31,468	18,874	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	72	85	62	貸館分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	88,372	88,982	96,950	

10	施設名	図書館・公文書館
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	図書館・公文書館	所在地	秋田市山王新町
施設面積	12,445.73 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	R C 造 4 階	台帳価格	2,661,672,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県公立図書館の中心的な役割を担い、また唯一の県立図書館として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

図書館・公文書館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	直流電流設備改修	24,261	
R5	照明設備改修（設計）	3,000	
R6	大規模修繕（建築・設備）	149,349	
R7	大規模修繕（建築・設備）	100,294	
	（ 合 計 ）	276,904	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	27,755	28,692	27,508	
運用コスト	42,255	47,377	43,425	
修繕コスト	945	5,549	22,637	
その他	0	0	0	
（合計）	70,955	81,618	93,570	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	450,106	438,108	421,547	

11	施設名	あきた文学資料館
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	あきた文学資料館	所在地	秋田市中通
施設面積	874.81 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	110,379,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田にゆかりのある作家の資料等を収集・保存・公開し、併せて県民の多彩な文学活動の拠点として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

県立図書館と集約化できる可能性があるか、今後検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

機能維持のための修繕を実施しながら使用するが、大規模修繕が必要となった場合、県立図書館を含めた他の県有施設と集約化できる可能性があるか検討する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

あきた文学資料館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,078	1,029	996	
運用コスト	1,686	1,746	1,659	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,764	2,775	2,655	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,692	7,201	6,922	

12	施設名	生涯学習センター
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	生涯学習センター	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	6,299.60 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	R C 造 5 階	台帳価格	378,129,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・生涯学習に関する調査研究を行うとともに、県民に学習の機会を提供し、生涯学習の振興を図る施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

将来的な建替えの際、近隣の県有施設との集約化について検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用するが、老朽化が進んでいることから、将来的な建替えも視野に入れることとする。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水の改修周期は20年、外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

生涯学習センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	23,233	
H30	視聴覚室空調設備改修	9,729	
R1	ボイラー更新	25,884	
R2	照明設備改修	24,089	R4までの3カ年計画
R3	照明設備改修	17,180	
R4	照明設備改修	17,335	
R5	外壁診断	8,250	
R7	大規模修繕（建築・設備）	400,000	
	（ 合 計 ）	525,700	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,411	16,411	16,398	
運用コスト	19,435	18,994	17,160	
修繕コスト	1,827	7,000	49	
その他	0	0	0	
（合計）	37,673	42,405	33,607	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,950	2,902	3,026	使用料（貸館）
〃	1,450	1,465	1,368	スマートカレッジ受講料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,457	109,327	114,608	

13	施設名	大館少年自然の家
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館少年自然の家	所在地	大館市東字岩神沢
施設面積	3,244.61 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	137,476,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県北地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	17,994	
H30	屋根改修等	8,016	
R1	トイレ洋式化	7,719	
R5	屋上防水改修	5,661	
	(合 計)	39,390	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,391	2,543	2,072	
運用コスト	3,628	3,686	3,228	
修繕コスト	0	0	129	
その他	0	0	0	
(合計)	6,019	6,229	5,429	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	163	141	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	26,483	26,080	25,735	

14	施設名	保呂羽山少年自然の家
----	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	保呂羽山少年自然の家	所在地	横手市大森町八沢木字大木屋
施設面積	3,332.69 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	157,530,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県南地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

保呂羽山少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	17,728	
H30	外壁改修等	4,016	
R4	屋根・外壁改修	8,624	
	(合 計)	30,368	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,588	2,645	2,574	
運用コスト	3,447	3,595	3,172	
修繕コスト	654	86	626	
その他				
(合計)	6,689	6,326	6,372	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	130	118	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	17,321	17,790	17,932	

15	施設名	岩城少年自然の家
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	岩城少年自然の家	所在地	由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢
施設面積	4,805.00 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C 造 1 階	台帳価格	319,056,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・中央地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

岩城少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	宿泊棟給排水設備等改修	6,449	
R4	地下タンク改修	5,786	R5に繰越
	非常用発電機・キュービクル内高圧機器更新	22,705	
	空調設備改修（設計）	1,158	
R5	空調設備改修（工事）	14,374	
	（ 合 計 ）	50,472	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,167	4,341	3,814	
運用コスト	5,305	5,922	5,363	
修繕コスト				
その他				
（合計）	9,472	10,263	9,177	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	515	506	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	23,238	22,840	25,854	